

保険で良い歯科医療の実現を求める運動推進のお願い

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会

代表世話人 宇佐美宏（全国保険医団体連合会歯科代表）
代表世話人 江原雅博（全日本民主医療機関連合会歯科部長）
代表世話人 大沢 文雄（歯科技工士）
世話人 中澤桂一郎（日本医療福祉生活協同組合連合会理事）

日頃から「保険で良い歯科医療の実現を求める」全国連絡会へのご援助、ご協力に心より感謝申し上げます。

「健康は健口からはじまる」——口の健康を維持することが、糖尿病の管理をはじめ、高血圧症や動脈硬化、誤嚥性肺炎、認知症の予防等、全身の健康に深い関わりを持っていることが様々な研究で明らかになっています。甚大な被害をもたらした今年の東日本大震災のなかでも、「命を守る総合的なケア」の一環として行われた口腔ケアの重要性が改めて認識されたところです。

しかし、今日の「格差と貧困」社会のなかで、子どもからお年寄りまで経済的理由による歯科受診困難、治療中断・中止で「口腔崩壊」という深刻な事態が広がり、国民皆保険制度のわが国で、歯科保険医療を国民が等しく享受することができない異常な状態が進行しています。

これら深刻な事態を招いたのは、窓口負担の高さに加え、技術料の長期据え置き、新規技術・材料の保険導入の遅れ等、歴代政府の歯科保険医療政策の軽視に原因があることは明白です。

こうしたなかで、昨年、皆様のご協力をいただき、取り組んだ「保険で良い歯科医療」を求める国会請願署名は29万筆を超え過去最高の署名数となりました。また、「保険で良い歯科医療の実現を求める」自治体意見書は35都道府県の11道県議会544市区町村議会（31.2%）に広がっています。

「格差と貧困」が広がる今こそ、いつでも、どこでも、だれもお金の心配のない「保険で良い歯科医療」の実現は、患者・国民、歯科医療従事者の共通の切実な願いです。保険で良い歯科医療の実現を求める運動の出番です。

各団体におかれましても、その主旨をご理解いただき、関係団体、広範な市民とともに協力し、下記の取り組みを具体化いただくようお願いいたします。

記

- 1、「保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」の過半数自治体での採択をめざす取り組み
 - 2、市民、団体とも共同した「口と健康」などをテーマにした取り組みの開催
 - 3、そうしたとりくみのなかで「保険で良い歯科医療の実現を求める」連絡会の結成
- 以上